

# コンテンツ産業がひらく21世紀

わが国ではコンテンツ振興法が公布・施行され(平成16年6月4日)先進諸国では国をあげてコンテンツ産業を支援育成している。これまであまり注目されなかったコンテンツ産業が、有望視されるに至った理由と経緯をデータをもとに明らかにする。さらに、わが国のコンテンツ産業にとって何が必要かを研究開発の面からも検討する。

講師 浜野 保樹氏

(東京大学大学院教授)

略歴: 昭和50年 国際基督教大学教養学部卒業

昭和52年 国際基督教大学大学院修士課程修了(教育学修士)

昭和55年 国際基督教大学教育学科助手

昭和57年 新潟大学教育学部助手

昭和58年 国立大学共同利用機関・メディア教育開発センター助教授

平成11年 東京大学大学院新領域創成科学研究科人間人工環境学専攻助教授

平成16年 東京大学大学院教授

主な所属学会: 日本映像学会、日本アニメーション学会、日本バーチャルリアリティー学会、日本情報通信学会

その他公的活動: 文化庁メディア芸術祭運営委員、総務省AMDアワード審査委員長、経済産業省デジタルコンテンツグランプリ・産業部門審査委員長、映画テレビ技術大賞審査委員、デジタルコンテンツ白書編集委員会委員長などを務める

専攻: メディア論

主要著書: 『ハイパーメディア・ギャラクシー』1988、『コンピューターの終焉』1989、『キューブリック・ミステリー』1990、『メディアの世紀』1991、『イデオロギーとしてのメディア』1992、『マルチメディア・マインド』1993、『デジタル革命の衝撃』1996、『極端に短いインターネットの歴史』1997、『表現のビジネス コンテント制作論』2003など。

2000年7月に開催されたACM-SIGGRAPHのElectronic Theaterに、プロデュースしたデジタルアニメーション『Akira Kurosawa's FLYING』が選出。